

比較言語論Ⅱ

科目ナンバリング LIN-304
選択 2単位

中村 浩一郎

1. 授業の概要(ねらい)

「中堅校」レベルの 言語学/英語学 実践編を目指します。
具体例を挙げながら進み、少しは学問の力を感じて頂けるものになりたいと思います。

2. 授業の到達目標

「既習の事項を整理しこれから仕込むべきものを入れる整理ダナを獲得する。」
これまでがむしやに勉強してこられた英語・また他の言語を、ここで別の視点から振り返ってみませんか。
皆さんが薄々は気付いていたこと(、場合によっては考えもしなかったこと)を明確なコトバで確認していきたい。基本的には
多くの方ご存じの日・英の対照ですが、それ以外に幾つかの言語から例を引くことがあります。
皆さんの言語に関する積年の疑問のうち、半年後本授業により解けているものが些かでもあれば喜ばしく思います。

3. 成績評価の方法および基準

対面時各回2点を平常点として与え得る。
評価基準: 始鈴時に教室に処り、授業に貢献しつつ最後まで処ること。授業の妨害をするなど論外。
あとは試験。
試験について最終的なことは教室で何度も学生方のお顔を拝して頂いてからでないと申しあげられません!
成績について照会したい者は直後のセメスタに教員の所に来ること。

4. 教科書・参考文献

教科書
三原・高見(編) 『日英対照 英語学の基礎』[予定] 東京: くろしお出版。

5. 準備学修の内容

この授業では予習より復習を重視します。それから先のことは、皆さんもう大学生でありますので、授業にご出席の上各々の
学力・状況に応じてお取り組みください。

6. その他履修上の注意事項

*毎年学生さんの資質も客観的状況も異なるものです。当然乍ら下記授業計画は変更され得ます。
不真面目な者はこの授業にはあまり向かぬこととされます。ご注意ください。
基本的なマナのなっておらぬ者は来ないでください。どうか、真面目に勉強する方々の妨害はしないでください。
対面授業の際は毎回定時に教室に処ること。

担当者の身体の調子の悪い為(一昨年度前期のオンライン授業で身体を壊してしまいました)、対面授業を行いつつ特別な事情のある学生方の為にオンライン授業をも行う余裕はありません。選択授業でありますので、基本的に対面で参加できる方にとって頂きたく、宜しくお願い申し上げます。

7. 授業内容

- 【第1回】 導入
- 【第2回】 カテゴリー化とプロトタイプ
- 【第3回】 メトニミー
- 【第4回】 語の意味
- 【第5回】 抽象概念とメタファー
- 【第6回】 事態の解釈
- 【第7回】 概念融合
- 【第8回】 小纏め
- 【第9回】 発話の論理形式
- 【第10回】 表意
- 【第11回】 (オンライン授業予定) 推意
- 【第12回】 概念的情報を持つ表現
- 【第13回】 手続き的情報を持つ表現
- 【第14回】 記述的使用と帰属的使用
- 【第15回】 纏め